

夜間ゼミ

「農業をはじめるとに当たっての心構え」

岐阜県 農業経営課

1. 農業者になる3つの方法

① 農業の会社に就職する(就業)

- ・新規、転職

② 個人農家になる(就農)

- ・自営業、個人事業主、生産中心

③ 農業の会社を作る(就農)

- ・法人、雇用型

2. 就農するには3者になる必要が！

- 農業者

栽培技術の習得

- 労働者

農作業の習得、体力

- 経営者

経営手法の習得

3. 農業をはじめめるにあたっての心構え

農業は、昔から営まれている産業で、人が生きることに欠かせない産業のひとつですが、他産業より収益が少ない、休みがない、なかなか農業を担う方が少ないのが現実です。

しかし、自分のペースで仕事が行え、定年のない仕事で、他の産業にない魅力があります。

農業のメリット・デメリット

十分理解する

4. 心構え

- ①農業を行うための動機が明確である。
 - ・自然(植物)が好き
 - ・生きていくのに欠かせない食料を作る
 - ・会社などの組織で働くより、家族と一緒に仕事ができる
- ②農業に対して人生を賭ける夢と情熱を持っている。
- ③具体的な構想を目標に持っている。
- ④やろうとしている農業に活かせる経験や知識を持っている。
- ⑤家族(周り)の理解、協力は得られている。
- ⑥農業に活用できる資産(資金)がある。
- ⑦困難を乗り越えていく決意は出来ている。

5. 自分の持っているもの

- ① 人（能力、労働力、仲間、地域住民）
- ② もの（農地、農業機械、建物、地域資源）
- ③ 金（資金、生活費）

まったくない場合は、準備してから進む！

6. 就農までのみちすじ

(1) 情報や基礎知識の収集

- ・ぎふアグリチャレンジ支援センター(岐阜県農畜産公社)
- ・全国新規就農相談センター(全国農業会議所)
- ・県や市町村(岐阜県では各農林事務所、市町村では農務担当者)
- ・JA(農業協同組合等)

(2) めざす農業の明確化

- ・どんな作物を作るのか
- ・どこで農業を行うのか
- ・いくらか(年収)

1・2を行って
研修スタート

(3) 農業技術やノウハウの修得

農業技術（栽培技術、経営手法、販売技術）

(4) 資金の確保

- ・ 農業経営に必要な資金、収入が入るまでの生活資金
- ・ 必要な資金はいくら、自己資金？
- ・ 借りる場合は、どのような資金を、どれだけ借りるのか

(5) 農地・住宅の確保

- ・ 経営開始の可能な農地（自己農地、借入農地）
- ・ 移住する場合、住宅、農地の確保
- ・ 非農家は、農地を借りるのに農業委員会の許可が必要

(6) 機械や施設の確保

- ・経営開始に必要な機械や施設
- ・ハウス、栽培システム、作業小屋など

(7) 市町村、県の支援措置の活用

- ・研修の支援・助成
- ・資金の助成
- ・農地の斡旋・紹介
- ・税の減免 など

この項目を自ら
行う必要がある

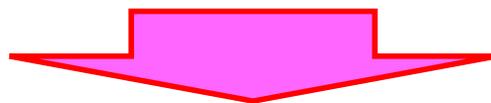
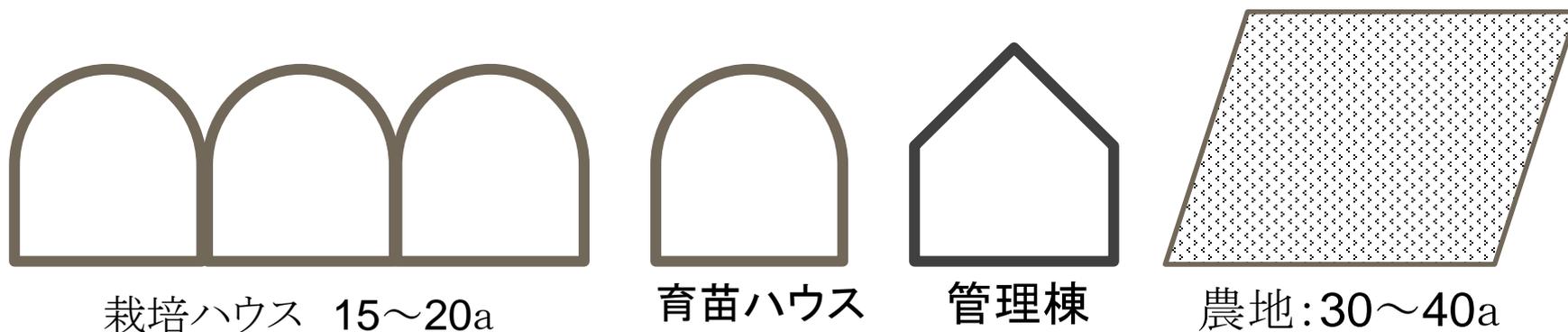
人まかせではいけない

番外編

- ・家族の同意(収入面、生活の変化)
- ・近隣農家(住民)とのつきあい
- ・JAや生産組合とのかかわり

7. 就農に必要なもの(例)

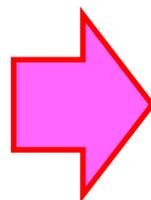
いちご栽培で就農:標準的な経営(15~20a)



10a 当たり 5t

15~20a → 7.5~10t 生産

販売単価: 約1,200円/kg



売上高

約900~

1,200万円

— 経費 = 収益

(1) 人(労働力)

- ・家族労働力や雇用労働力が必要
- ・15aの経営では
家族だと+1~2名、パート雇用で2~3名必要

人(支援者)

- ・農業は1人では出来ない
- ・地域との共存
- ・仲間が必要(いちご生産組合)
- ・市町村、JAの協力
- ・先輩や後輩

(2) 物 (農地)

現状

- 後継者不足、耕作放棄地で空き農地はある
- ほとんどの農地が小区画農地(20a以下)
- 地主として農地は財産。他人に貸すのは？
- 米作りで貸すなら良いが、ハウスは×
- 農地はあるが、栽培に適していない(専門家確認)

方法

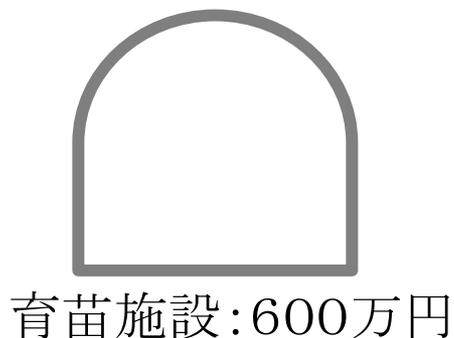
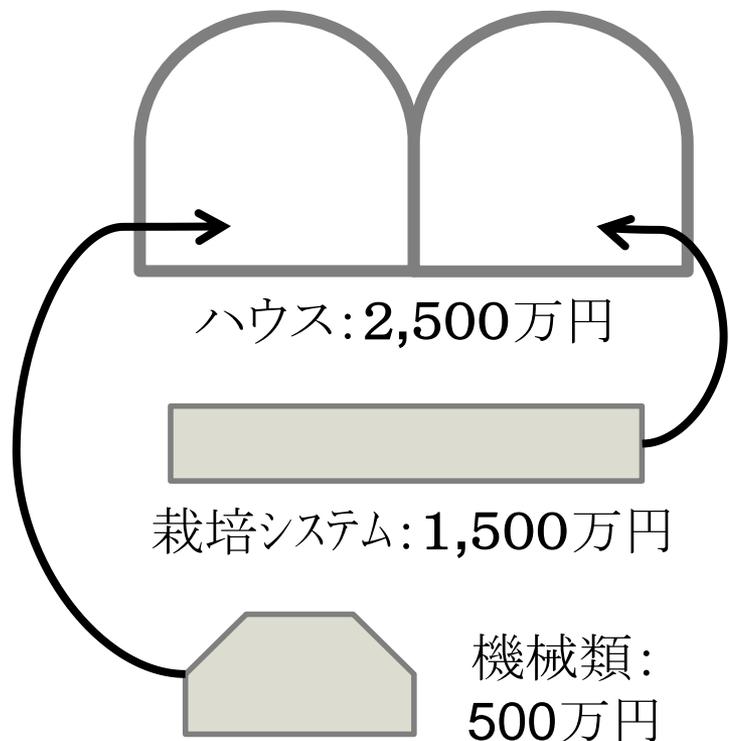
- 自分(親・親戚)の農地がある
- 農業が盛んな地域では、仲間になるなら○
- 就農実績のある地域では、理解されやすい

物(施設等)

コストがあがっている

いちご15~20aのハウスで栽培する場合

総事業額:約5,000~6,000万円



その他施設

- ・井戸 200万円
- ・外構 200万円
- ・車 110万円
- ・物置等 50万円
- ・予冷庫 150万円

ランニングコスト

毎年かかる経費

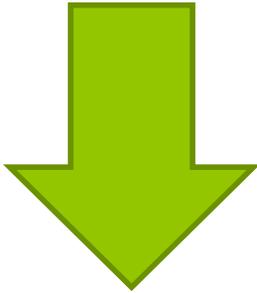
- ・種苗 50万円※
- ・資材 200万円※
- ・農具 30万円※
- ・農薬肥料60万円
- ・燃料等 120万円
- ・流通経費 30%

※高騰している!

※高騰している!

(3) 金：資金

数千万円の資金調達は難しい



- ・自己資金があれば○
- ・高額で借りられない
- ・収支も合わない

方法

- ・補助制度を受ける(県・市からの補助)
- ・JAからの支援を受ける(リース事業)
- ・制度資金(低金利資金)

就農前に自己資金を確保する

農業を始めたいが難しい(ハードルが高い)

まず、行うこと

- ・情報収集を行う。
 - ・農業の良いところ、悪いところを把握
 - ・自分に農業があっているか確認
-

転職の方:

- ・まずは、仕事をしながら農業を学ぶ
夜間ゼミの他、短期研修、地域の研修会など

新卒の方:

- ・農業の会社に就職する。農業の学校へ行く。

就農：自分で事業を行う「起業」
(農業では就農)

覚悟

が必要！